RIKOCHALLENGE

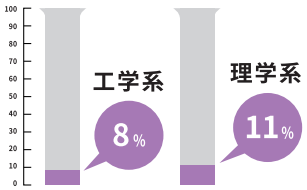
リコチャレ 理工チャレンジ

女子生徒等の理工系への進路選択を応援

女子中高生・女子学生の皆さんが、
将来の自分をしっかりイメージして理工系分野に
進路選択（チャレンジ）することを応援する取組を、
内閣府男女共同参画局が中心となって進めています！

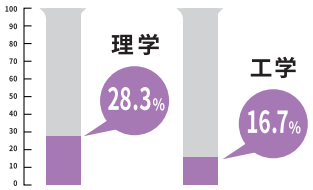
日本の理工系分野の現状

大学の教員に占める女性の割合（助教以上）



出典：学校教員統計調査（令和４年度）

専攻分野別に見た女子学生の割合（学部生）



出典：学校基本調査（令和６年度）

女性の理工系人材が必要です

科学技術・学術分野における**技術革新（イノベーション）の創出には、多様な視点や発想を取り入れることが不可欠**であり、女性研究者・技術者の活躍が期待されています。しかし、特に理工系分野を中心に、女性研究者等の数は低い水準に留まっています。そのため、**理工系分野に対する興味関心や理解を向上させる取組を推進**し、次代を担う女性の理工系人材の育成につなげます。

理工系のお仕事体感しよう！

夏のリコチャレ EVENT

夏休み期間に、主に女子小中高生を対象として実施する
企業・大学・学術団体等のイベント※を取りまとめて発信しています。

※職場見学、工場見学、職業体験、実験教室、女性社員との交流、シンポジウム等

2025年開催実績 129団体 235イベント約 8,300名が参加

リコチャレウェブサイト WEBSITE

- イベント情報（夏のリコチャレ以外にも。通年でイベントを発信しています。）
- 先輩からのメッセージ
- ロールモデル情報
- 団体からの応援メッセージ
- シンポジウム
- 調査研究

理工チャレンジ（リコチャレ）サイトはこちら▶
https://www.gender.go.jp/c-challenge/

リコチャレ応援団体・理工系女子応援ネットワーク

理工チャレンジの取組は、趣旨に賛同する産・学・官の団体が連携して進めています。

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する大学・企業・学術団体等

約**960**団体

理工系女子応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な取組・活動を行っている団体

約**230**団体

理工系女子応援ネットワーク会議

- 理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- 取組に関する情報共有を通じて相互連携を強化

STEM Girls Ambassadors

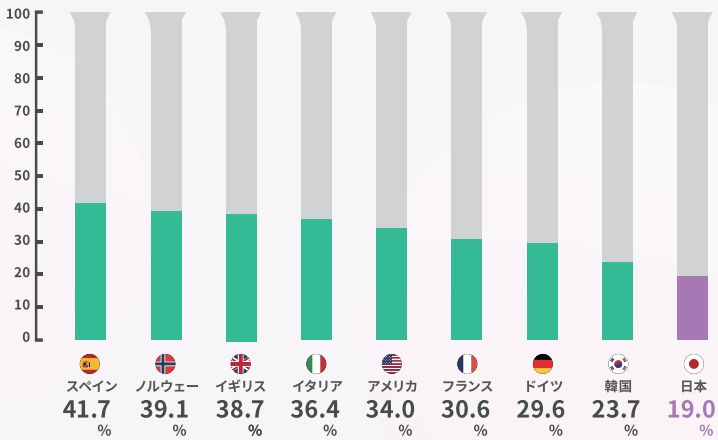
理工系の最前線で活躍するSTEM Girls Ambassadorsが、理工系の魅力をお伝えします。学校や地方公共団体等で実施する講演会・イベントに、STEM Girls Ambassadors を呼んでみませんか？ご希望を受け付けています！

SYMPOSIUM シンポジウム

- 有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- 関係団体と連携して開催するなど、社会の理解を促進

諸外国の研究者に占める女性割合

諸外国の研究者に占める女性割合は30%を超える国が増えてきており、それと比較すると日本は低い水準に留まっています。



＜備考＞
1．総務省「科学技術研究調査」（令和7年），OECD“Main Science and Technology Indicators”，米国国立科学財団（National Science Foundation：NSF）“Science and Engineering Indicators”より作成。
2．日本の数値は，2025（令和7）年3月31日現在の値。イギリスは、2017（平成29）年値。アメリカは、2019（令和元）年値。イタリアは、2022年（令和4）年値。その他の国は，2023（令和5）年値。推定値及び暫定値を含む。
3．アメリカの数値は，雇用されている科学者（Scientists）における女性の割合（人文科学の一部及び社会科学を含む。）。
※数値は2025年12月18日確認時点。